



—東北生産性本部—

第36回仙台シンポジウム12月例会開催

テーマ「朝鮮半島情勢と日本の対応」



■ 12月例会（12月6日開催）46名参加

★講師 コリア・レポート編集長

辺 真一 氏

12月例会ではサンデーモーニング（TBS系）準レギュラーでもある辺氏を招いてのシンポジウムでしたが、12月3日に韓国情報機関である国家情報院が金正恩第1書記の後見役とされた張成沢国防副委員長が失脚した可能性が高いと国会に報告したことを受け、日本でも失脚問題が連日報道されていたタイミングであり、参加者の皆さまの関心が高い中での開催になりました。

北朝鮮は経済の立て直しのための外国資本の導入のために、中国やロシアと国境を接する『ラソン経済特区』を国際貿易の拠点にしたいと考えているが、中国・ロシアは軍港としての活用も考えており、そうなれば日本の脅威となる。従って我が国の安全保障や環日本海経済圏構想実現、天然資源外交の観点から、更には北朝鮮としては、中国の従属国化や韓国に吸収合併されるなどの懸念から、日本をパートナーとして必要としており、今が「日本人拉致問題」を解決すべき時期であると述べました。

辺氏からは張成沢国防副委員長の失脚に関しては、長老組が一致団結して追い出したのではないかとの見方を示しました。長老組とは金日成と抗日パルチザンで戦ったような人たちで、政治局員 20 人中 8 人が 80 代。最高齢は 89 歳の金国泰（キムグッテ）で労働新聞を仕切る金基南（キムゲナム）も 84 歳。国防委員会も 70 代、80 代が占めており、彼らには誰も逆らえない上に、金家に対しては絶対的な忠誠心を持っていると述べました。

その他、韓国朴槿恵大統領の米中二股外交と日本叩きの課題や従軍慰安婦問題の歴史的経緯などタイムリーな内容のご講演を頂戴し、大変有意義なシンポジウムになり、参加者の皆さまを含めましてご協力に感謝申し上げます。

<第36回仙台シンポジウムの今後の予定>

例会（開催日）	テーマ	講師
2月18日 14:00～15:30	「日本経済と世界の経済情勢」 安倍政権とオバマ政権の経済政策	(株) 双日総合研究所 吉崎 達彦 氏

*会場は仙台商工会議所会館 7 階大会議室です。各例会に参加ご希望の方は、東北生産性本部（TEL 0 2 2 - 2 6 1 - 0 4 1 1）までご連絡下さい。

第一義 ～特定秘密保護法～

韓国大統領の常軌を逸した日本バッシングや中国の防空識別圏に名を借りた空域の管轄権の主張、北朝鮮内での体制問題など我が国の近隣諸国は政治的に不安定であり最近では軍事衝突の懸念などが報道されております。マスコミ報道では特定秘密保護法案成立により、国民の知る権利が制約されるとの内容がほとんどであり、そうなのかな～と考えていました。しかし、国会周辺での反対デモ参加者の顔ぶれを見ると本当に私たち国民の制約ばかりなのか・・・あの人達が反対ということは国益に適うものではないかとも考えさせられました。軍事機密などは世界のどの国でも極秘であり、そのルールはあってしかるべきと考えます。小職としてはこの法案の成立により、国家の秘密を守りスパイ天国の汚名を返上し、政治的に不安定な近隣諸国から我が国民の生命と財産を守る強い国になることを願っています。

（記 S・Y）